

平成30年度 「老人の日・老人週間」について

誰もが健康で、安心して生きがいのある生活を送ることのできる活力ある健康長寿社会を築くためには、国民一人ひとりが、家庭、職場、学校及び地域社会において高齢者との関わりを深めていくとともに、高齢者自らが高齢期のあり方に関心を高めるよう取り組んでいくことが重要です。

「老人の日・老人週間」キャンペーンは、その契機となるよう、内閣府、厚生労働省などが提唱し、展開しているものです。

1 期間 9月15日の「老人の日」から21日までの「老人週間」の7日間

2 標語 「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」

3 福岡市の「老人の日・老人週間」について

- I 福岡市内で開催の関連行事について P1
- II 本市の高齢者の状況（人口構成、人口推移、区別人口等） P2～3
- III 本市の百歳以上高齢者の状況（市内最高齢者、百歳以上の人数等） . . . P4

4 参考資料

- ・ 平成30年度「老人の日・老人週間」キャンペーン要綱／厚生労働省
- ・ 福岡タワー「敬老の日」イベントチラシ／福岡タワー株式会社
- ・ 「社会奉仕の日」の実施について／福岡市老人クラブ連合会

<問い合わせ>

保健福祉局 高齢社会部 高齢福祉課

担当 江崎、加藤、林

電話：092-711-4881(内線2116)

FAX：092-733-5587

I 福岡市内で開催の関連行事について

【福岡市関連】

行事名	期間等	場 所	内 容	主催等
敬老祝品の贈呈	9月3日(月) ～14日(金)	全市	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年8月末交付対象者人数 100歳 カタログギフト 342人 ※年齢は、平成30年度中に到達する満年齢	福岡市 及び福岡市社会福祉協議会

【その他】

行事名	期間等	場 所	内 容	主催等
福岡タワー 敬老の日イベント ※別紙参照	9月17日(月/祝)	福岡タワー	65歳以上の方を展望室に無料ご招待など ※1階券売所で年齢がわかるものを提示してください	福岡タワー(株) 電 話 : 823-0234 担当 : 坂田
社会奉仕の日 ※別紙参照	9月20日(木) を中心に実施	全市	地域社会に対する感謝の意を表するため環境美化活動を行う	福岡市老人クラブ連合会 電 話 : 713-1340 担当 : 多々良

Ⅱ 本市の高齢者の状況

1 高齢者の人口構成

平成30年8月末現在

区 分		人 口	比 率
福岡市総人口 (A)		1,537,475 人	—
65歳以上人口 (B)		328,421 人	B/A 21.4%
75歳以上人口 (C)		154,627 人	C/A 10.1%
在宅65歳以上人口 (D)		304,400 人	B×92.7%
在宅人口構成	65歳未満と暮らしている高齢者世帯	110,800 人	D×36.4%
	高齢者夫婦のみの世帯	109,300 人	D×35.9%
	ひとり暮らし高齢者	84,300 人	D×27.7%

注1) A、B、Cは住民基本台帳登録人口

注2) 在宅人口構成比率は、平成27年度国勢調査による推計

注3) 「高齢者夫婦のみの世帯」とは「男女ともに65歳以上夫婦のみ世帯」を表す

注4) D及びその在宅人口構成の人口は、10人以下の端数を四捨五入

2 平成27年国勢調査による人口構成

区分	人口 (人)	65歳以上人口 (人)	総人口比 (%)
全 国	127,094,745	33,465,441	26.6%
福岡県	5,101,556	1,304,764	25.9%
福岡市	1,538,681	312,331	20.7%

注1) 高齢化率は、総人口から不詳分を除いた人口に占める65歳以上人口の割合

3 福岡市の高齢者人口の推移

(人口単位：千人)

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口	1,237	1,285	1,341	1,401	1,464	1,539
65歳以上人口	113	142	178	213	254	312
高齢化率	9.2%	11.1%	13.3%	15.4%	17.6%	20.7%

注1) 平成2年～平成27年の人口は、国勢調査による

注2) 人口の千人以下の端数は、四捨五入

注3) 高齢化率は、総人口から不詳分を除いた人口に占める65歳以上人口の割合

4 各別高齢者人口

(平成30年8月末現在)

年齢	全市		東区		博多区		中央区		南区		城南区		早良区		西区		年齢
	総数	総数に対する比率	総数	総数に対する比率	総数	総数に対する比率	総数	総数に対する比率	総数	総数に対する比率	総数	総数に対する比率	総数	総数に対する比率	総数	総数に対する比率	
総数	1 537 475	100.00%	309 134	100.00%	229 501	100.00%	186 862	100.00%	261 377	100.00%	124 766	100.00%	218 085	100.00%	207 750	100.00%	総数
60～64	82 778	5.38%	16 742	5.42%	10 761	4.69%	9 228	4.94%	14 507	5.55%	7 268	5.83%	12 945	5.94%	11 327	5.45%	60～64
65～69	97 014	6.31%	19 932	6.45%	12 272	5.35%	10 404	5.57%	17 035	6.52%	8 912	7.14%	14 957	6.86%	13 502	6.50%	65～69
70～74	76 780	4.99%	15 643	5.06%	9 811	4.27%	8 193	4.38%	13 534	5.18%	6 906	5.54%	11 837	5.43%	10 856	5.23%	70～74
75～79	60 167	3.91%	12 438	4.02%	7 488	3.26%	6 082	3.25%	10 747	4.11%	5 527	4.43%	9 067	4.16%	8 818	4.24%	75～79
80～84	45 730	2.97%	9 130	2.95%	5 684	2.48%	4 874	2.61%	8 253	3.16%	4 269	3.42%	6 834	3.13%	6 686	3.22%	80～84
85～89	29 921	1.95%	5 976	1.93%	3 664	1.60%	3 239	1.73%	5 401	2.07%	2 834	2.27%	4 493	2.06%	4 314	2.08%	85～89
90～94	14 189	0.92%	2 811	0.91%	1 705	0.74%	1 591	0.85%	2 600	0.99%	1 279	1.03%	2 113	0.97%	2 090	1.01%	90～94
95～99	3 991	0.26%	807	0.26%	514	0.22%	425	0.23%	701	0.27%	348	0.28%	570	0.26%	626	0.30%	95～99
100歳以上	629	0.04%	118	0.04%	81	0.04%	76	0.04%	109	0.04%	51	0.04%	95	0.04%	99	0.05%	100歳以上
(再掲)																	(再掲)
60歳以上	411 199	26.75%	83 597	27.04%	51 980	22.65%	44 112	23.61%	72 887	27.89%	37 394	29.97%	62 911	28.85%	58 318	28.07%	60歳以上
65歳以上	328 421	21.36%	66 855	21.63%	41 219	17.96%	34 884	18.67%	58 380	22.34%	30 126	24.15%	49 966	22.91%	46 991	22.62%	65歳以上
70歳以上	231 407	15.05%	46 923	15.18%	28 947	12.61%	24 480	13.10%	41 345	15.82%	21 214	17.00%	35 009	16.05%	33 489	16.12%	70歳以上
75歳以上	154 627	10.06%	31 280	10.12%	19 136	8.34%	16 287	8.72%	27 811	10.64%	14 308	11.47%	23 172	10.63%	22 633	10.89%	75歳以上

注1) 住民基本台帳に基づく数値である。

注2) 総数に対する比率は、小数点第3位を四捨五入

Ⅲ 本市の百歳以上高齢者の状況

平成30年9月1日現在

1 本市の最高齢者

女性 東区在住 115歳（平成30年9月15日現在）
 男性 城南区在住 105歳（平成30年9月15日現在）

2 平成30年9月15日までに満百歳以上になる人数（年齢は平成30年9月15日時点）

（単位：人）

年齢	全市			東区			博多区			中央区			南区			城南区			早良区			西区		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
115		1	1		1	1																		
114																								
113																								
112																								
111																								
110		3	3		1	1																2	2	
109		2	2										1	1					1	1				
108		2	2					1	1													1	1	
107		3	3										1	1		2	2							
106		14	14		3	3		2	2				4	4		2	2		2	2		1	1	
105	1	19	20		2	2		1	1		4	4	6	6	1	1	2		3	3		2	2	
104	2	34	36	1	9	10		5	5		4	4	5	5	2	2	1	5	6		4	4		
103	9	48	57	4	10	14		2	2	2	5	7	1	11	12	1	6	7	1	4	5		10	10
102	7	88	95	2	14	16		20	20		11	11	3	10	13		6	6	1	14	15	1	13	14
101	12	147	159	3	27	30	3	17	20		22	22	2	22	24	1	7	8		27	27	3	25	28
100	24	217	241	4	38	42	4	26	30	4	24	28	3	42	45	1	21	22	5	31	36	3	35	38
合計	55	578	633	14	105	119	7	74	81	6	70	76	9	102	111	4	47	51	8	87	95	7	93	100

3 平成31年3月31日までに満百歳以上になる人数（年齢は平成31年3月31日時点）

（単位：人）

年齢	全市			東区			博多区			中央区			南区			城南区			早良区			西区		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
116		1	1		1	1																		
115																								
114																								
113																								
112																								
111		2	2		1	1																	1	1
110		3	3										1	1					1	1		1	1	
109		2	2					1	1														1	1
108		1	1														1	1						
107		11	11		2	2		2	2				4	4		2	2		1	1				
106	1	15	16		3	3					3	3	5	5	1	1	2		1	1		2	2	
105		29	29		5	5		6	6		1	1	4	4		3	3		7	7		3	3	
104	8	42	50	4	9	13		2	2	1	5	6		11	11	1	3	4	2	3	5		9	9
103	7	76	83	2	14	16		15	15	1	13	14	3	7	10		5	5	1	12	13		10	10
102	12	115	127	3	21	24	2	15	17		16	16	3	18	21	1	8	9		19	19	3	18	21
101	20	178	198	3	35	38	4	20	24	4	23	27	1	27	28	1	14	15	4	26	30	3	33	36
100	43	299	342	13	54	67	6	38	44	2	30	32	7	73	80	4	22	26	7	36	43	4	46	50
合計	91	773	864	25	144	169	12	99	##	8	91	99	14	150	164	8	59	67	14	106	120	10	124	134

平成 30 年 「老人の日・老人週間」 キャンペーン要綱

標 語

「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」

今年には明治 150 年にあたります。この間、我が国は世界でも有数の長寿国となりましたが、それは命を大切にす国民一人ひとりの努力の賜物といえます。そして今日、誰もが健康で、安心して生きがいのある生活を送ることのできる活力ある健康長寿社会を築くことが大切になっています。

国においては、高齢社会対策基本法に基づく「高齢社会対策大綱」を平成 30 年 2 月に策定し、(1) 年齢による画一化を見直し、全ての年代の人々が希望に応じて意欲・能力をいかして活躍できるエイジレス社会を目指す、(2) 地域における生活基盤を整備し、人生のどの段階でも高齢期の暮らしを具体的に描ける地域コミュニティを作る、(3) 技術革新の成果が可能にする新しい高齢社会対策を志向する、を基本的考え方として、施策の総合的な推進に努めています。

現在、増加する認知症高齢者の支援や介護予防等、地域での支え合いや医療・介護・福祉の連携促進により、高齢者ができる限り住み慣れた地域で生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが各地で進められています。

さらに自然災害が相次ぐなか、災害時に要援護者となった高齢者への支援のあり方が課題となっていることから、平常時からの支援体制づくりも進められています。

明治 150 年の記念すべき年にあたり、こうした取り組みを一層効果的なものにするためには、高齢者自らが高齢期のあり方に関心を高めるとともに、国民一人ひとりが、家庭、職場、学校及び地域社会等において高齢者との関わりを深めていくことが重要です。

このような状況をふまえ、9 月 15 日の「老人の日」、同月 21 日までの「老人週間」を契機として、すべての高齢者が安心して暮らせるまちづくり、高齢者の社会参加・ボランティア活動の促進、高齢者の人権の尊重等、以下の 6 つの目標を掲げ取り組むことを提唱いたします。

□キャンペーンが目指す 6 つの目標

- (1) すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。

- (2) 高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
- (3) 高齢者の生きがい・健康づくり、介護予防等への取り組みを進めよう。
- (4) 高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援のあり方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
- (5) 高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、多世代がお互いに協力して安心と活力ある健康長寿社会をつくろう。
- (6) 減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から地域でのつながりを築こう。

□キャンペーン期間

平成 30 年 9 月 15 日の「老人の日」から 21 日までの「老人週間」の 7 日間
(この前後の期間にも運動を展開していくことを提唱いたします。)

□主 唱

内閣府 消防庁 厚生労働省 全国社会福祉協議会 全国老人クラブ連合会
長寿社会開発センター 日本医師会 日本歯科医師会 日本薬剤師会
日本看護協会 日本社会福祉士会 日本介護福祉士会

□協 賛

NHK 日本新聞協会 日本民間放送連盟

「老人の日・老人週間」の経緯

昭和 22 年 (1947 年) に兵庫県多可郡野間谷村で行われた敬老行事がきっかけとなり、昭和 25 年 (1950 年)、9 月 15 日を「としよりの日」としようとする敬老・福祉の県民運動が開始されました。

昭和 26 年 (1951 年)、中央社会福祉協議会 (現：全社協) が全国運動を提唱。9 月 15 日から 21 日までの 1 週間を運動週間として、「老人を敬い慰め、励ますとともに、老人福祉に対する国民的理解を促進し、老人自身もまたその立場を自覚し、新しい社会建設に参加する」ことをうたって様々な活動が推進されました。

「としよりの日」は後に「老人の日」を経て昭和 41 年 (1966 年) に国民の祝日「敬老の日」へと発展しました。そして、平成 13 年 (2001 年) の老人福祉法の改正により、9 月 15 日が「老人の日」、同月 21 日までの 1 週間が「老人週間」と定められました。

なお、「国民の祝日に関する法律」の改正により、平成 15 年 (2003 年) から「敬老の日」が 9 月の第 3 月曜日となりました。

NEWS RELEASE

福岡タワー『敬老の日』イベント

敬老の日は65歳以上の方々に無料ご招待致します！

福岡タワーでは、9月17日(月・祝)の「敬老の日」にちなみまして、65歳以上の方々に展望室に無料ご招待させていただくほか、ご高齢者の方々に始めとする皆様方に楽しんでいただける企画をご用意いたします。

1. 高齢者のタワー展望料無料ご招待

日 時：9月17日(月・祝) 9:30~22:00(最終入館 21:30)

内 容：65歳以上のご高齢者の方々にタワー展望室に無料ご招待させていただきます。
同行の方は1割引。

2. まちの保健室(協力：福岡県看護協会)

日 時：9月17日 10:00~15:00(受付終了 14:00)

内 容：ご高齢者向けに、専門知識を持った看護師・保健師の方々による健康チェック・健康相談・
介護相談のコーナーを無料にて開設いたします。

場 所：1階多目的ホール

3. 観光ガイドボランティア(協力：福岡市観光案内ボランティア協会)

日 時：9月17日 9:30~15:00

内 容：ガイドの方より、タワーから見える福岡・博多に関する様々なご案内・ご説明を申し上げます。

場 所：5階展望室

4. サンプリングブースの出展

日 時：9月17日 9:30~ サンプリング無くなり次第終了

内 容：ご高齢者の方々に対象としたサンプリングブースを1階エントランスホールに出展予定
参加企業：(株)やすや

〔本件についてのお問い合わせ先〕

福岡タワー株式会社 営業課 担当/坂田
TEL.092-823-0234 FAX.092-822-4656
E-mail : sakata@fukuokatower.co.jp

「社会奉仕の日」の実施について

～きれいな地球を子どもたちへ～

1 趣 旨

老人週間を契機に全国一斉「社会奉仕の日」(9月20日)を設定し、全老人クラブ参加のもとに「美化活動」や「環境にやさしい活動」に取り組み、地域社会に対する感謝と地域の担い手としての活力を示すとともに、次代により環境を残そうとするものです。

2 主 唱

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 公益社団法人 福岡市老人クラブ連合会

3 実施主体

校区(地区)老人クラブ連合会 単位老人クラブ

4 実施期日

平成30年9月20日(木)〔地域によっては、実施期日の変更もあります。〕

5 経 緯

昭和59年 神奈川県・横浜市・川崎市老人クラブ連合会において、9月20日を敬老の日に感謝する「社会奉仕の日」に設定し、一斉奉仕活動を実施

昭和60年 活動が全国10数県に波及

昭和61年 全国老人クラブ連合会において全国三大運動の一つとして一斉奉仕活動(社会奉仕の日)を実施することを決定、全国的に活動が拡大

平成5年 「花のあるまち、ゴミのないまち」をスローガンに採用

平成20年 活動内容に「環境にやさしい活動」を加え、スローガンを「きれいな地球を子どもたちへ」に変更

平成26年 全国三大運動「健康を進める運動」「在宅福祉を支える運動」「老人クラブ『社会奉仕の日』」の推進要綱を統合する。

6 平成29年度「社会奉仕の日」実施状況

区名	クラブ数	参加クラブ		会員数	参加会員	
		クラブ数	参加率		会員数	参加率
東 区	139	136	98%	6,363	2,746	43%
博多区	128	121	95%	5,677	2,845	50%
中央区	83	76	92%	3,231	1,234	38%
南 区	174	143	82%	8,176	3,265	40%
城南区	62	59	95%	2,853	1,457	51%
早良区	107	107	100%	5,610	3,600	64%
西 区	106	102	96%	5,180	2,407	46%
計	799	744	93%	37,090	17,554	47%

お問合せ先

公益社団法人福岡市老人クラブ連合会

事務局 活動推進員 多々良博晴

TEL : 092-713-1340 FAX : 092-713-0157

E-mail : sirouren4@hyu.bbiq.jp

全国一斉「社会奉仕の日」の取り組み要領

1. 経緯

- ・昭和59年度 神奈川県・横浜市・川崎市老連において、敬老の日（当時：9月15日）に感謝する「社会奉仕の日」を9月20日に設定し、一斉奉仕活動を実施。
- ・昭和60年度 活動が全国10数県に波及する。
- ・昭和61年度 全老連において全国三大運動の一つとして、一斉奉仕活動「社会奉仕の日」を実施することを決定。
- ・平成5年度 「花のあるまち、ゴミのないまち」をスローガンに掲げる。
- ・平成20年度 「環境にやさしい活動」を加え、「きれいな地球を子どもたちへ」を新たなスローガンとする。
- ・平成26年度 全国三大運動（健康・友愛・奉仕）の推進要綱を統合したことに伴い、老人クラブ「社会奉仕の日」要領を見直すこととする。

2. 趣旨

経緯のとおり、「社会奉仕の日」（9月20日）は、多くの老人クラブで取り組まれていた奉仕活動を、全国一斉に実施することにより、地域社会に対する感謝と地域の担い手としての活力を示そうと全国運動として提唱してきました。これまでの経験を生かして、地域団体や住民の協力しながら、地域の緑化、美化、資源ゴミのリサイクル等の活動を中心に、幅広いボランティア活動として取り組むものです。

3. 実施期日

9月20日 全国一斉の実施日とする（可能な限り、「老人週間」内で実施する）。

4. 主唱・実施主体・活動内容・推進方法

「全国三大運動」推進要綱に同じ。

なお、実施の際は、のぼり旗や腕章により、老人クラブの活動であることを明らかにするように配慮する。